

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)

【公表番号】特表 2008-542005 (P2008-542005A)
 【公表日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-047
 【出願番号】特願 2008-513015 (P2008-513015)
 【国際特許分類】

C 0 2 F 1/28 (2006.01)

B 0 1 D 29/00 (2006.01)

C 0 2 F 1/00 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 1/28 G

B 0 1 D 23/00 Z

C 0 2 F 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 25 日 (2009.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

濾過される水を集めるための第 1 の貯槽 (8) と、

その濾過された水を集めるための第 2 の貯槽 (1 2) であって、この貯槽 (1 2) は、前記第 1 の貯槽 (8) から落下することにより供給されるものと、

前記第 1 の貯槽 (8) から第 2 の貯槽内に延びる導管 (1 0) と、

その導管 (1 0) 内に取外し可能に受けられるカートリッジタイプの濾過部材 (1 1) と、

前記導管 (1 0) と第 2 の貯槽 (1 2) との間に位置する濾過された水のための流出孔 (2 2 a、3 1) とを有してなり、

前記導管 (1 0) は、前記第 1 の貯槽 (8) からの遠端であって、その取外しを促進するために、前記カートリッジに対するアクセスのための少なくとも 1 つの開口 (1 5) を有し、前記カートリッジに対するアクセスのための開口 (5) の領域内の導管 (1 0) に取外し可能に嵌めることができる、少なくとも部分的な閉止蓋を有し、さらにそれが第 1 の貯槽から流出孔 (2 2 a、3 1) を介して前記第 2 の貯槽 (1 2) に流れる水の流量を調節するために、導管 (1 0) と協働している流量調節器を有することを特徴とする、水および液体一般を濾過するための濾過装置 (1) 。

【請求項 2】

前記流量調節器は、それが、第 2 の貯槽 (1 2) の水位高さの変化の影響によって前記カートリッジから流出している水の逆圧力における変化を最小にするようなものである請求項 1 記載の濾過装置。

【請求項 3】

前記流量調節器は、前記流出孔 (2 2 a、3 1) が、前記第 2 の貯槽 (1 2) の水位高さに本質的に依存しないカートリッジからの出口で逆圧力を決定するように、前記カートリッジからの水の流出に関して第 1 の貯槽 (8) に近いように、前記カートリッジから流出され、かつ、流出孔に向って指向されている水のための上向きの進行の限界を定めるた

め的手段を有する請求項 1 または 2 記載の濾過装置。

【請求項 4】

前記限界を定める手段は、前記進行が、前記導管とカートリッジとの間にその導管の内部で規定されるように、導管（10）に関連して位置される請求項 1～3 のうちのいずれか 1 項記載の濾過装置。

【請求項 5】

前記限界を定める手段は、前記進行が、前記導管とこの導管（10）に嵌められるピーカー状の構造（20）との間にその導管の外部で規定されるように、導管に関連して位置される請求項 1～3 のうちのいずれか 1 項記載の濾過装置。

【請求項 6】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記導管（10）から取外すことができ、かつ、その導管（10）の閉止蓋を構成する請求項 5 記載の濾過装置。

【請求項 7】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記導管（10）の軸方向における調整可能な方法で位置決めされる請求項 5 または 6 記載の濾過装置。

【請求項 8】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記導管（10）に阻止部をもって嵌められる請求項 5、6 または 7 記載の濾過装置。

【請求項 9】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記導管（10）にねじでとめられる請求項 7 記載の濾過装置。

【請求項 10】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記導管（10）にスナップ係合で取付けられる請求項 5 または 6 記載の濾過装置。

【請求項 11】

前記ピーカー状の構造（20）は、前記基部（21）に関して調整可能な方法で延びることができる外表面（22）を有する請求項 5 または 6 に記載の濾過装置。

【請求項 12】

前記流量調節器は、前記孔（31）を調節して閉止するための手段を有する請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載の濾過装置。

【請求項 13】

前記閉止手段は、前記孔（31）の断面を調節するための手段を有する請求項 12 記載の濾過装置。

【請求項 14】

前記調節手段は、前記孔（31）内に取外し可能に挿入することができるストッパ（33、33'）に嵌るように調整された孔を有するタイプである請求項 13 に記載の濾過装置。

【請求項 15】

前記閉止手段は、調節可能な断面を有し、かつ、前記孔（31）内に挿入されるシャッタ（35）を有する請求項 12 記載の濾過装置。

【請求項 16】

前記閉止手段は、少なくとも 1 つの補助孔（40）と、この孔（40）を遮断するための手段（41）とを有する請求項 13 記載の濾過装置。

【請求項 17】

前記補助孔（40）を遮断するための手段は、水位タイプであって、かつ、第 2 の貯槽（12）の水位高さが増加するにつれて前記孔（40）を解放することができる請求項 16 記載の濾過装置。

【請求項 18】

前記遮断する手段は、フロートタイプ（44）である請求項 17 記載の濾過装置。

【請求項 19】

前記導管（１０）が取外し可能に挿入されるストッパ（５０、５０′、５０′′）を有し、これらのストッパ（５０、５０′、５０′′）は、底壁（５２）を有するとともに、さらに前記流出穴（５１）がこの底壁に形成される請求項１記載の濾過装置。

【請求項２０】

前記ストッパ（５０、５０′、５０′′）は、前記底壁（５２）から前記導管（１０）に関して反対方向に突出する筒形部（５５、５５′）を有し、前記流出穴（５１）がその筒形部に形成される請求項１９記載の濾過装置。

【請求項２１】

前記筒形部（５５、５５′）は、前記底壁を通して延びるように軸方向に続く内部通路（５６）を有する請求項２０記載の濾過装置。

【請求項２２】

前記ストッパ（５０、５０′、５０′′）は、前記穴（５１）を有するとともに、前記内部通路５６を閉塞する閉止壁を有する請求項２０記載の濾過装置。

【請求項２３】

前記ストッパ（５０、５０′、５０′′）は、前記底壁から導管（１０）に向かって突出する筒形部（５５、５５′）を有し、前記流出穴がこの筒形部（５５、５５′）に形成される請求項１９記載の濾過装置。

【請求項２４】

前記穴（５１）は、前記底壁（５２）に形成される請求項１９記載の濾過装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３０】

【図１】この発明の第１の実施例による濾過装置の縦断面であり、この装置は、水差しに合体されている。

【図２】図１の水差しの部分的に分解された図である。

【図３】図１の水差しの詳細部分の斜視平面図である。

【図４】図３の詳細部分の断面図である。

【図５】図３の詳細部分の縦断面図である。図５aおよび図５bは、それぞれ図１の水差しの構造的変形の倍尺に描かれた図である。

【図６】この発明の他の実施例による濾過装置の部分的に分解した縦断面図であり、この装置は水差しに合体されている。

【図７】図６の水差しの詳細部分の倍尺に描かれた側面図である。

【図８】図６の水差しの詳細部分の倍尺に描かれた正面図である。

【図９】そこに示された詳細部分の異なる構造の図７に近似している図である。

【図１０】そこに示された詳細部分の異なる構造の図８に近似している図である。

【図１１】図７の詳細の他の変形の倍尺に描かれた斜視図である。

【図１２】この発明による装置の異なる構造の倍尺に描かれた概略図である。

【図１３】この発明による装置の他の異なる構造の倍尺に描かれた概略部分断面図である。

【図１４】図１３の装置の詳細部分を示し、それぞれ図１４aは側面図、図１４bは底面図である。

【図１５】この発明の装置の他の構成の変形の、倍尺に描かれた概略部分断面図である。

【図１６】この発明の装置の他の構成の変形の、倍尺に描かれた概略部分断面図である。